

平成24年度 水資源機構営事業 事後評価
「香川用水施設緊急改築事業」
技術検討会(第1回) 議事概要

1. 開催日時 平成24年5月24日(木) 15:25~17:15
2. 場 所 独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所 別棟大会議室
3. 出席者 別紙のとおり
4. 議事概要

【委員からの主な発言】

- (1)アルカリ骨材反応による施設劣化に対応した改修であるが、その発達には地域性が関係するのか。また、施設の耐用年数との関連はあるのか。
- (2)事業計画時点と事後評価時点の作付面積について、単年度と5ヶ年平均値のデータが混在しているところがある。「事業実施前後で明らかになった変化」の評価と効果算定上の採用値について、分かりやすい表現で記述すること。
- (3)補修工法について、状況に応じて複数の工法より適切に採用されていると思うが、今後種々の地域で発生する水路改修事業の計画づくりに反映可能と思われることから採用し得る妥当な技術をどの様な基準の下に選定したのかという様なことを結果として示せられればと考える。
- (4)管理用道路の整備によってアクセスや景観が良くなったことについて、周辺住民からの評価が非常に高く、景観の向上が交流人口の増加県外からのお客さんやレクリエーション需要に応えるものがあるといった期待をしていたが、効果算定の便益には参入していなかった。
- (5)投資効率の観点から、費用を掛けたポイントが分かるように主要工事における費用の内訳を評価書に記述できないか。
- (6)香川県としての農産物が市場に占める地位を明確にし、その農産物の生産を維持することの重要性について評価できないか。
- (7)農業面の評価だけでなく、一般的な災害や水道に対しても重要と考えられる遠方監視化等による防災危機管理体制の強化といった観点からも評価できないか。

(別紙)

平成24年度 水資源機構営事業 事後評価「香川用水施設緊急改築事業」

技術検討会(第1回)出席者名簿

区分	氏名 (50音順)	所属	役職	分野
技術検討会委員	角道 弘文	香川大学 工学部	准教授	環境
	亀山 宏	香川大学 農学部	准教授	農業経済
	佃 俊子	香川県生活研究グループ 連絡協議会	会長	消費者
	永井 明博	岡山大学 大学院 環境生命科学研究科	教授	農業土木 (委員長)
	中道 仁美	愛媛大学 農学部	准教授	地域振興
事後評価委員会・事務局	落井 康裕	独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	所長	
	川村 文洋	独立行政法人 水資源機構 水路事業部設計課	課長	
	藏本 外志之	農林水産省 農村振興局 整備部水資源課	課長補佐	
	島田 晃成	独立行政法人 水資源機構 水路事業部設計課	課長補佐	
	下舞 寿郎	独立行政法人 水資源機構 水路事業部	部長	
	宮崎 敏行	農林水産省 農村振興局 整備部水資源課	水資源企画官	
	藪内 敏行	農林水産省 中国四国農政局 農村計画部農村振興課	課長	
	藪田 和也	独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	所長代理	